

国際シンポジウム INTERPRAEVENT2014

～強靱さを備えた社会を構築するための減災対策～

環太平洋インタープリベント協議会
インタープリベント 2014 実行委員会

期 日：平成 26（2014）年 11 月 25 日（火）～28 日（金）

開催地：奈良県奈良市（会場：奈良県新公会堂）

主 催：インタープリベント 2014 実行委員会、環太平洋インタープリベント協議会

共 催：International Research Society INTERPRAEVENT、（公社）砂防学会

後 援：国土交通省、奈良県

協 賛：（一社）全国治水砂防協会、（一財）砂防・地すべり技術センター、
（一財）砂防フロンティア整備推進機構、（一社）国際砂防協会 等

目 的：

環太平洋地域全体において、従来より土砂災害や洪水が多発している中、近年特に、気候変動の影響による豪雨や台風、地震、火山噴火等に起因する大規模な土砂災害が頻発しており、これら様々な現象に対して、適切な対応策を検討し、それらを進めていく必要があります。このためには、今後の防災に関する研究及び考察を深め、その成果を積極的に世界の技術者、研究者、行政関係者、教育関係者及びその他、土砂災害への関心を持つ全ての人々に発信していくことが極めて重要となっています。

そこで、2011 年 9 月に台風 12 号の豪雨に起因する大規模な土砂災害に見舞われた、日本の奈良県において、2014 年 11 月に「インタープリベント 2014」を開催することとしました。



奈良県五條市大塔町赤谷地区に発生した河道閉塞（天然ダム）

日 程：

	午 前	午 後	夜
2014 年 11 月 25 日（火）	受付	開会式、基調講演	歓迎会
11 月 26 日（水）	口頭発表	口頭発表、ポスターセッションコアタイム	
11 月 27 日（木）	現地視察研修	現地視察研修	
11 月 28 日（金）	口頭発表	パネルディスカッション、閉会式	

※現地研修会は現在計画中です。次のサーキュラーでお知らせいたします。

参加費用：

- ・一般 25,000 円、学生 10,000 円、随行者 10,000 円
- ・昼食代 1,000 円／日
- 意見交換会費 5,000 円
- 現地視察研修会費 5,000 円（昼食代含む）

※別途、宿泊費がかかります。

参加および宿泊等申し込み：

参加登録用ウェブサイトは平成 26 年 4 月に開設予定です。

宿泊については、次のサーキュラーで詳細をお知らせいたします。（本登録締め切りは平成 26 年 9 月 30 日です。）

言語：使用する言語は英語です。

基調講演：

4 カ国から選ばれた講師により、各国の近年における災害の特徴及び災害対策、防災研究の方向性などについて 11 月 25 日（火）の午後に講演がなされます。

口頭セッション：

発表内容によって区分されたトピックスが、各セッションにおいて議論されます。提出されたアブストラクトから選出された論文に関する口頭発表（15 分）に各 5 分の質疑応答となります。

ポスターセッション：

提出されたアブストラクトから選出された論文に関するポスターは、11 月 25 日（火）から 26 日（水）の 2 日間展示されます。26 日の午後にコアタイムが設定されています。

パネルディスカッション：

豪雨・地震・火山噴火等に起因する大規模土砂災害に焦点を当て、現象の特徴や緊急対応、警戒避難、監視体制等について、総合的な議論を行います。

現地研修会：

平成 23 年 9 月の台風 12 号により天然ダム（河道閉塞）が発生した箇所、亀の瀬地すべり等の現地視察を実施する他、随行者を対象とする史跡を巡る研修を企画する。

トピックス：

このシンポジウムの中心課題である「強靭さを備えた社会を構築するための減災対策」は、以下の 6 つのカテゴリーに大別されています。

1. 現地調査、解析、モデリング
 - 地質学、地形学もしくは水文学的な背景
 - 発生過程や挙動に関する特徴
 - 地図化とモデル化のためのリモートセンシング、GPS、GIS の技術 等
2. 大規模災害
 - 大規模災害の発生メカニズム
 - 大規模災害への備えと緊急対応 等
3. 危機管理とソフト対策
 - 先進的な監視技術と警報システム
 - 危険度評価のための手法と手順
 - 災害危険地の区分と図化
 - 減災に向けた防災教育と地域の取り組み 等
4. ハード対策とその効果
 - 効果的な施設の設計手法と配置計画
 - 環境や生態系への影響を配慮した工法
 - 施設の維持管理
 - 施設の副次的な利用 等
5. 復興活動
 - 被害状況の継続的監視
 - 生活基盤の復興
 - 社会経済的な見地による復興 等

6. 持続可能な土地利用のための管理

- 急傾斜地における土地利用の実状
- 持続可能な土地利用のための先進的な計画手法
- 持続可能な土地利用のための管理手法
- 災害軽減のための法制度 等

研究発表概要の投稿について：

発表を希望される方は、発表の概要（A4 サイズ 2 ページ）を実行委員会事務局までお送りください。投稿はオンラインで受け付けます。〆切は平成 25 年 8 月 31 日です。なお、投稿用のウェブサイトは平成 25 年 4 月に開設予定です。

投稿用の原稿データは MS ワードで作成してください。書式等については、[別添のテンプレート\(ダウンロードはこちら\)](#)に従ってください。投稿された概要については、編集委員会で査読したのち、受理・不受理・修正のいずれかを平成 25 年 11 月末日までに投稿者に連絡いたします。受理した原稿は全て概要集に印刷し、シンポジウム当日に配布する予定です。

概要原稿が受理された投稿者は、10 ページ以内の本論文を平成 26 年 3 月 31 日までにウェブサイトから実行委員会へ投稿してください。本論文についても、編集委員会で査読した後 CD-ROM に記録し、概要集に添付して配布する予定です。

今後のスケジュール：

概要投稿の開始	平成 25 年 4 月
概要投稿の締切	平成 25 年 8 月 31 日
概要の採否の通知	平成 25 年 11 月 30 日
セカンドサーキュラーの発行	平成 26 年 2 月
本論文投稿の締切	平成 26 年 3 月 31 日
参加登録の開始	平成 26 年 4 月
最終論文の提出	平成 26 年 8 月 31 日
ファイナルサーキュラーの発行	平成 26 年 8 月
参加登録、ホテル予約の締切	平成 26 年 9 月 30 日

会場までの交通機関：

次のサーキュラーでご案内いたします。

実行委員会：

- 委員長 石川 芳治（インタープリメント理事、東京農工大学教授）
- 委員 大野 宏之（国土交通省砂防部砂防計画課長）
- 委員 大庭 孝之（奈良県土木部長）
- 委員 岡本 正男（環太平洋インタープリメント協議会会長、社団法人砂防学会会長、一般社団法人国際砂防協会理事長）
- 委員 小川紀一郎（社団法人砂防学会理事）
- 委員 小山内信智（独立行政法人土木研究所土砂管理研究グループ長）
- 委員 海堀 正博（広島大学教授）
- 委員 後藤 宏二（国土交通省国土技術政策総合研究所危機管理技術研究センター長）
- 委員 名波 義昭（国土交通省近畿地方整備局河川部長）
- 委員 藤田 正治（京都大学防災研究所教授）
- 委員 山田 孝（三重大学教授）
- 監事 松村 和樹（京都府立大学教授）

1st Circular

名誉顧問：荒井 正吾（奈良県知事）

顧問：丸井 英明（インタープリメント副会長、新潟大学教授）

お問い合わせ先：

インタープリメント 2014 実行委員会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-5

（一社）国際砂防協会 原・野間

TEL: 03-6380-9044 FAX: 03-3261-5449

E-mail: kyokai@kokusaisabo.or.jp

URL: <http://interprevent2014.com>